

165系 直流急行型電車

組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイ お客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22

☎ 277-8511

☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3

☎ 531-0072

☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下野郡壬生町おちもち5-0855-47 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

Nゲージのパーツ交換について

■動力ユニットの取り付け(Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
品番11-104	チビ客車用動力ユニット

* KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、座席の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

●トレーラー車への台車取付

* 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

* 各社、割りピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。細い(緩い)場合は調整してください。

●機関車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このときスカートは外して、シャーシと交換・装着します。

品番11-103 「ポケットライン用動力ユニット」

* 11-103は、購入時にはカブラー-ポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

* お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO: 11-401 PS14: 直造パンタグラフ	グリーンマックス: 80-2: PS13: 直造パンタグラフ
KATO: 11-403 PS22: 直造・下幹交差形パンタグラフ	グリーンマックス: 80-3: PT42: 直造パンタグラフ
KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直造パンタグラフ	グリーンマックス: 80-5: PT43: 直造パンタグラフ
	クロスギヤット: PT71C: シングルアームパンタグラフ

* 11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。ほか各社、取り付けピンが縦: 2本のパンタグラフを取り付けられます。

* 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

* 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(緩い)場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

* 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

シャーシの組立

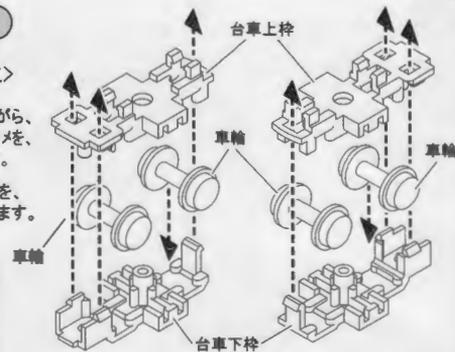
1 〈台車の組立〉

* 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツマを、台車上枠に通します。

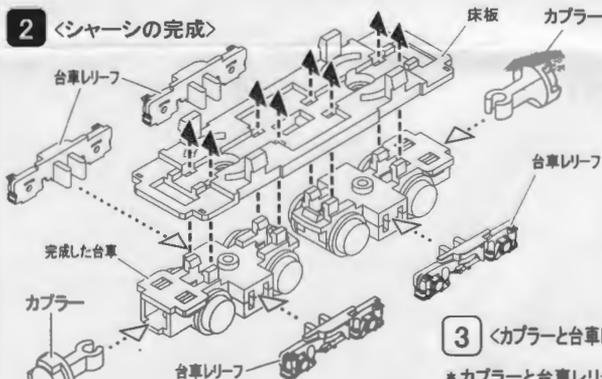
* 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください



2 〈シャーシの完成〉



* 出来上がった台車を床板に取り付けます。
* 台車の4箇所のツマを床板に通します。

3 〈カブラーと台車リーフの取り付け〉

* カブラーと台車リーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付けの方が楽に作業できます。

* カブラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

165系・実車の編成例

クモハ 165	モハ 164	クハ 165	基本3両編成 (モトロー、ムーンライト ほか) (多客時にはこれを2~3両編成連結して使用しました。)					
クモハ 165	モハ 164	サロ 165	クハ 165	4両編成 (基本3両を加えた7, 10両編成もありました。)				
クモハ 165	モハ 164	サロ 165	クモハ 165	モハ 164	クハ 165	6両編成		
クハ 165	モハ 165	モハ 164	サロ 165	サロ 165	モハ 165	モハ 164	クハ 165	8両編成 (急行・東海 ほか)

台車リーフの向きに注意



カブラー(連結器)について

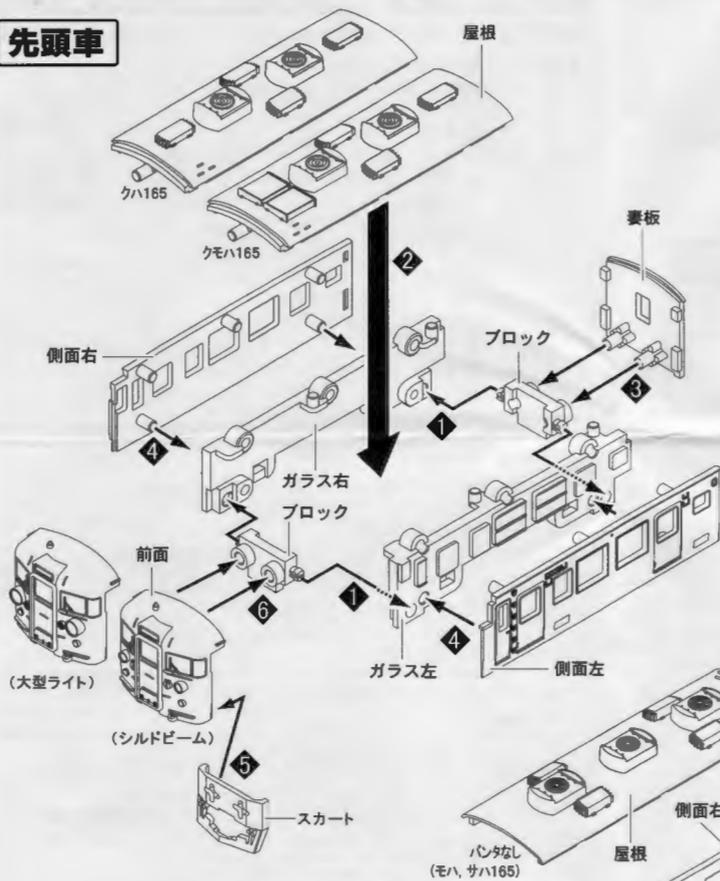
ダミーカブラー (先頭車正面などに使用します。)

* 連結はできません。

ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)



先頭車



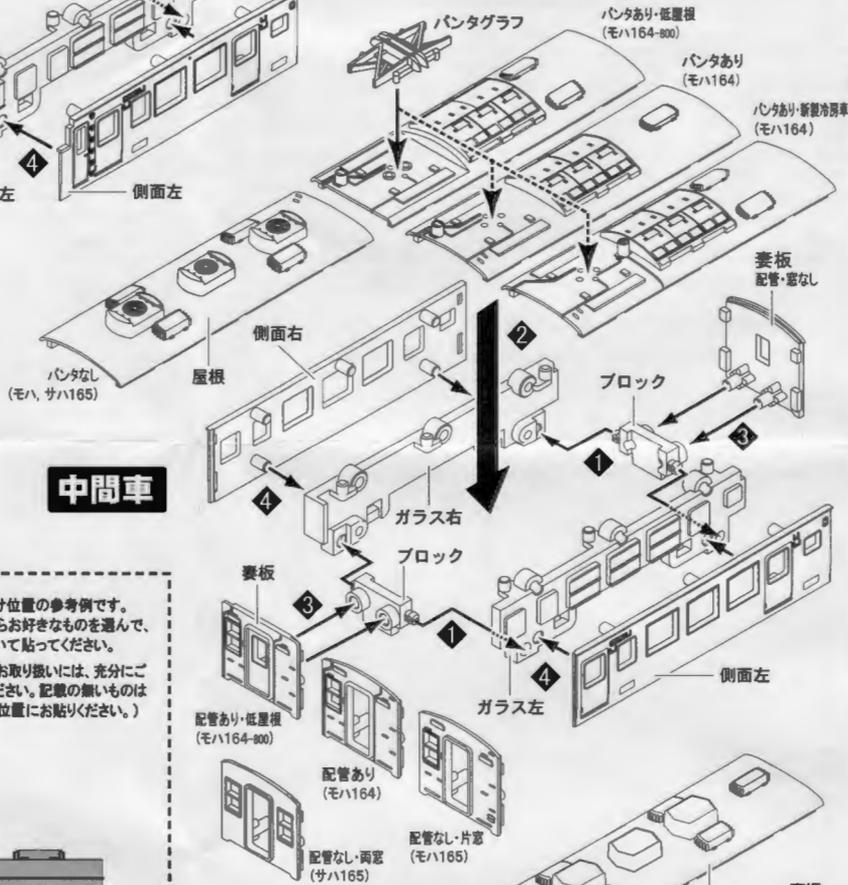
車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
*妻板の凸部をきちんとはめ込んでください。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。(中間車は完成です。)
- ⑥前面にスカートを取り付けます。
- ⑦先頭車は前面を取り付けて完成です。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

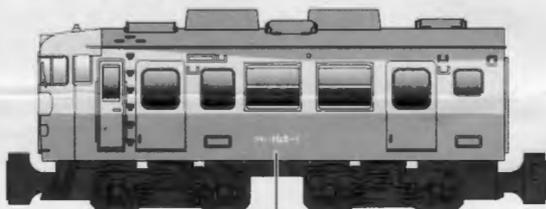
中間車



ステッカーの貼付け位置



*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものは好みの位置にお貼りください。)

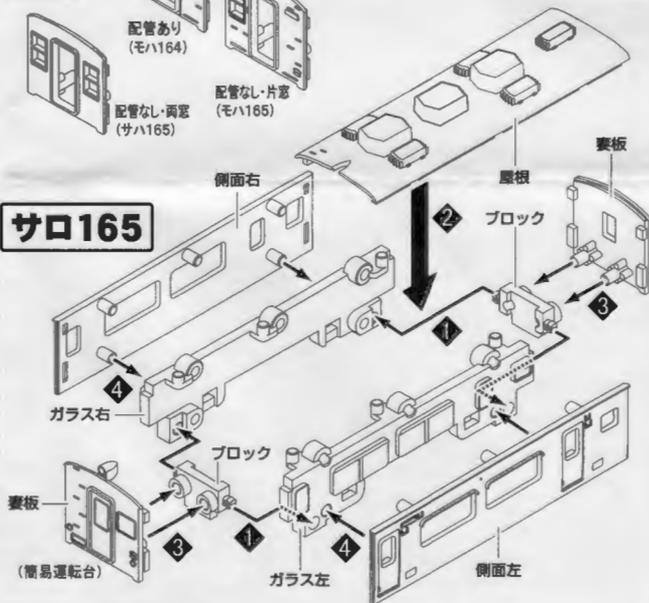


クハ165・クモハ165 車体番号



モハ164 車体番号

サロ165



457系

交直流急行型電車

組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やわめやす、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイ お客様相談センター

(東日本) 池田市豊四季241-22 ☎ 277-8511 ☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下野郡壬生町おもひ5-0-25 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

Nゲージのパーツ交換について

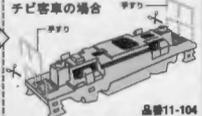
■動力ユニットの取り付け(Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
品番11-104	チビ客車用動力ユニット

* KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車種によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)



●トレーラー車への台車取付

* 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

* 各社、割りピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。細い(硬い)場合は調整してください。

●機関車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このときスカートは外して、シャーシと交換・装着します。

品番11-103	ポケットライン用動力ユニット
----------	----------------

* 11-103は、購入時にはカブラー・ポケットの内側にストッパー(プラスチック片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

* お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO: 11-401	PS14: 直造パンタグラフ	グリーンマックス: 80-2: PS13: 直造パンタグラフ
KATO: 11-403	PS22: 直造・下幹交差形パンタグラフ	グリーンマックス: 80-3: PT42: 直造パンタグラフ
KATO: 11-404, 11-420	PS16: 直造パンタグラフ	グリーンマックス: 80-5: PT43: 直造パンタグラフ
		クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ

* 11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。

ほか各社、取り付けピンが横: 2本のパンタグラフを取り付けられます。

* 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

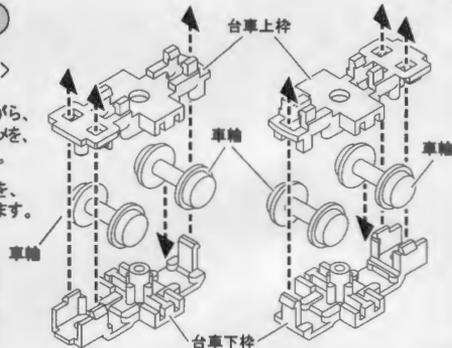
* 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが困難(細い)場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

* 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

シャーシの組立

1 <台車の組立>

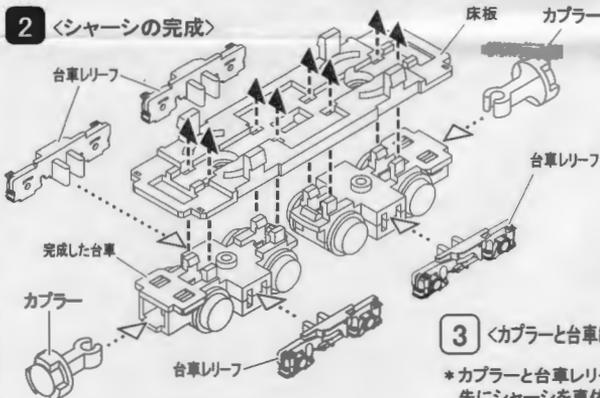
- * 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- * 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>



- * 出来上がった台車を床板に取り付けます。
- * 台車の4箇所のツメを床板に通します。

3 <カブラーと台車レリーフの取り付け>

- * カブラーと台車レリーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付ける方が楽に作業できます。
- * カブラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

457系・実車の編成例

クモハ 457	モハ 456	クハ 455
------------	-----------	-----------

基本3両編成
(多客時にはこれを2~3編成連結して使用しました。)

クモハ 457	モハ 456	サハ 455	クハ 455
------------	-----------	-----------	-----------

4両編成
(475) (474)
(サハの入った4連、北総ローカルなど。)

クモハ 457	モハ 456	サロ 455	クハ 455
------------	-----------	-----------	-----------

4両編成
(基本3両を加えた7、10両編成もありました。)

クモハ 457	モハ 456	サロ 455	クモハ 457	モハ 456	クハ 455
------------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------

6両編成

* 電動車(クモハ、モハ)は、東日本では、451系、453系、455系、西日本では、471系、475系を使用する場合があります。

台車レリーフの向きに注意。

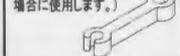


カブラー(連結器)について。

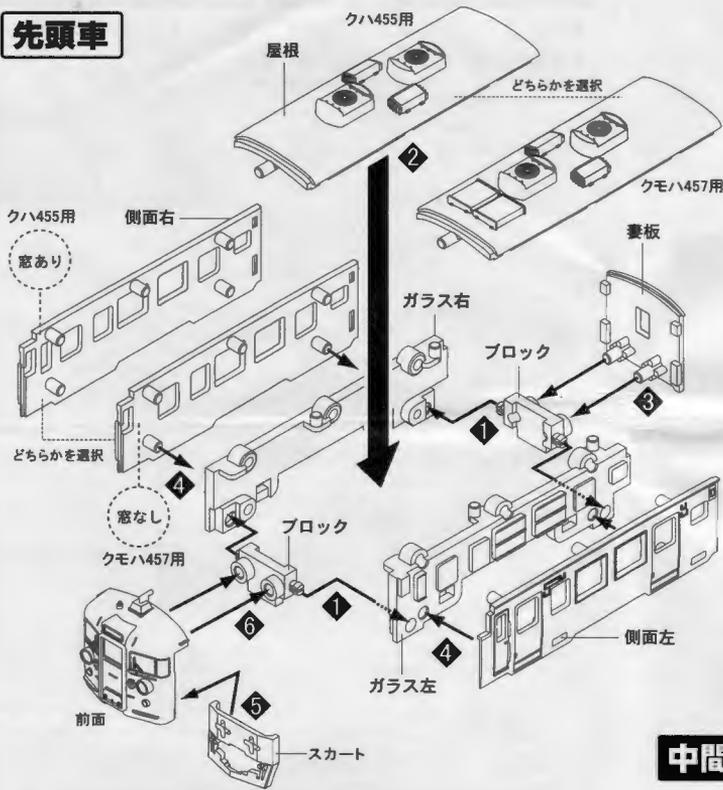
ダミーカブラー(先頭車正面などに使用します。)

* 連結はできません。

ドローバー
(2両を固定連結する
場合に使用します。)



先頭車



*クモハ457を製作するときは、運転室後の窓の無い右側面を使用します。この場合、ガラス右の該当部分の窓ガラスを切り抜いてから組み立てます。(ミゾに沿って切り抜いてください。)
*クハ455を製作するときは、窓の開いた右側面を使用します。

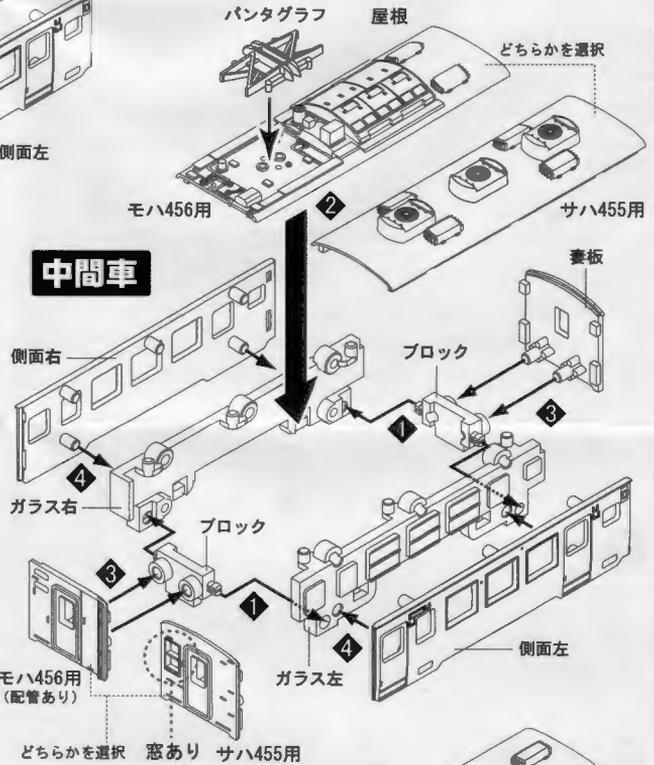
車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
*妻板の凸部をきちんとはめ込んでください。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。(中間車は完成です。)
- ⑥前面にスカートを取り付けます。
- ⑦先頭車は前面を取り付けて完成です。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

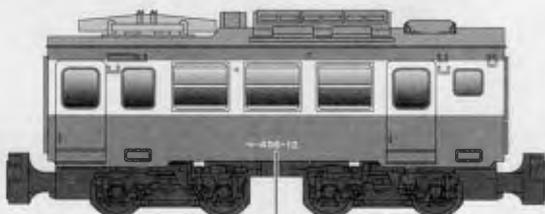
*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根/パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

中間車



ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(写物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものは好みの位置にお貼りください。)



サロ455

